

事業報告書

23年度に地域支え合い体制事業にて拠点整備いたしました福祉センターとボランティアセンターにつきましては、誰にも優しい施設として高齢者・障がい者・ボランティア等多くの市民を対象とした交流会や講演会・研修等に活用いたしました。

障がいのある人が地域で生きがいを得ながら安心して暮らすことができるように相互にふれあう活動を促進する事業、障がい者社会参加促進事業は2年目を迎え地区のボランティアの協力も定着し、事業の必要性への理解が進み、今年度のテーマとして掲げた共生「ボランティアと一緒に創るサロン」では長坂校区と大木地区にて先駆的に実施され、参加の障がい者・地区ボランティアともに高い評価を得ました。また、障がいのある人が地域で生活するため重要となる相互交流の機会として、障がいのある人もない人も誰もが参加できるパラリンピックの競技種目であるボッチャによる交流会を開催し好評でありましたので今後も引き続き実施して参ります。

ボランティア事業では社協が開催した傾聴講座の修了生によりボランティアグループ「風」が設立され活動を開始しました。また、ボランティアセンターの活性化については、毎週金曜日に運営委員による当番を実施し、ボランティア目線の運営をすることによりボランティアの仲間の輪を広げることと訪問しやすい場所づくりを目指した運営を行いました。さらに孤立する人のないように障がい・年齢等に関係なく気軽に集いあえる場を提供するためにボランティアセンターにて月1回の交流機会「ほっとサロン」を開始しました。

災害救援事業では、災害時に適切に行動するために災害救援マニュアルに基づき災害ボランティアセンター運営の模擬訓練を実施し、具体的な動きの中でマニュアルの検証をしましたが、シミュレーションを継続して実施する必要性を確認できました。

地域包括支援センターでは高齢者の相談業務を行っていますが、高齢者の増加により認知症等についての講座への参加希望が多く、毎回盛況でアンケート結果も良かったので、今後も豊かな老後に貢献するため、求められているものを時機をとらえて提供して参ります。

市から受託した共同募金事業におきましては、地域福祉活動の貴重な財源を確保するため街頭募金活動に取り組み、駅前・ショッピングセンター6か所にて計8回実施しました。同じく介護支援サポーター事業におきましては、新規事業でありましたが支障もなく無事にスタートいたしました。今後は参加者の増を図るため継続した広報を実施していきます。

高齢者・障がい者等社会的弱者の方々にも住みよい地域福祉の推進に関係者・関係機関と連携し以下のとおり取り組みました。

〔1〕法人運営関係

法人の運営を円滑にするため下記の会議、研修会を開催した。

- | | |
|-------------------------------|----|
| (1) 定例理事会の開催 | 9回 |
| (2) 三役会の実施 | 4回 |
| (3) 定例評議員会の開催 | 3回 |
| (4) 業務会計監査の実施 | 2回 |
| (5) 地域包括担当理事連絡会の開催 | 2回 |
| (6) 財務・予算担当理事連絡会の開催 | 2回 |
| (7) 理事・監事・評議員合同研修会の開催 | 2回 |
| ①開催日 / 平成 24 年 9 月 2 日 (日) | |
| 内 容 / 災害ボランティアセンターの模擬訓練 | |
| 場 所 / 社会福祉センター、ボランティアセンター | |
| 参加者 / 66 名 | |
| ②開催日 / 平成 25 年 1 月 25 日 (金) | |
| 内 容 / 『何故、地域福祉活動が必要なのか！』 | |
| 講 師 / 桃山学院大学 教授 松端克文氏 | |
| 参加者 / 44 名 | |
| (8) 理事・監事・地区福祉委員会役員合同視察研修会の開催 | 1回 |
| (9) 理事・監事選考委員会の開催 | 1回 |

〔2〕地域福祉事業の推進

平成 7 年度から取り組んだ『小地域ネットワーク活動』は、平成 15 年度には市内全地区 (14 地区) に活動が広がり一人暮らしの高齢者や高齢者世帯・障がい者等への個別訪問活動や地域の町内会館等で、高齢者や障がい者・児童等を対象とした、ふれあいいいきサロンや世代間交流会が定期的で開催された。また、就学前の幼児と保護者を対象とした、子育てサロンも新たに 2ヶ所が増え 16ヶ所において定期的で開催されている。

障害者社会参加促進事業においては 2 年目を迎え、長坂地区・大木地区において地区内の障害者施設と連携した地域ふれあい交流会を開催し、福祉委員会関係者や地域ボランティアとの交流が図られた。

1. 小地域ネットワーク活動地区の指定

- | | |
|----------|---------------------------|
| 《 7 年度～》 | (1) 日新地区福祉委員会連合会・・・〔4 支部〕 |
| | (2) 佐野台地区福祉委員会・・・〔4 支部〕 |
| | (3) 北中地区福祉委員会・・・〔3 支部〕 |
| | (4) 三小地区福祉委員会・・・〔3 支部〕 |
| | (5) 末広地区福祉委員会・・・〔5 支部〕 |
| 《 8 年度～》 | (6) 一小地区福祉委員会・・・〔9 支部〕 |
| 《 9 年度～》 | (7) 長滝地区福祉委員会・・・〔4 支部〕 |
| 《10 年度～》 | (8) 上之郷地区福祉委員会・・・〔7 支部〕 |
| 《11 年度～》 | (9) 大土地地区福祉委員会・・・〔2 支部〕 |
| 《12 年度～》 | (10) 長坂地区福祉委員会・・・〔9 支部〕 |

- 《13年度～》 (11) 日根野地区福祉委員会・・・〔11支部〕
 《14年度～》 (12) 南中地区福祉委員会・・・〔4支部〕
 (13) 中央地区福祉委員会・・・〔6支部〕
 《15年度～》 (14) 二小地区福祉委員会・・・〔9支部〕

2. 連絡会の開催

- (1) 地区福祉委員会連絡会の開催 4回
 (2) 子育てサロン実施地区連絡会の開催 1回
 (3) 支部連絡会の開催 1回

3. 研修会・講座等の開催

- (1) 小地域を支えるボランティア講座の開催

開催日	内 容	参加者
7月9日 (月)	○オリエンテーション ○事例報告「岬町淡輪にある障がい者も参加できる毎日型のふれあいサロン(みんなのたまり場)」 講師/岬町社協事務局長 立花直樹氏 淡輪地区福祉委員会 2名	37名
7月13日 (金)	○障がい者の理解について ○車イス・アイマスク体験(行動援護) 講師/大阪体育大学 教授 安場 敬祐氏	26名
7月27日 (金)	○小地域助け合い活動の必要性 講師/桃山学院大学 教授 松端 克文氏	36名
7月30日 (月)	○介護予防教室 「高齢者に対する介護予防の意義や知識・技術」 講師/健康運動指導士 川口多津子氏	28名

- (2) 機関紙づくり方講習会の開催

開催日 / 平成24年8月7日(火)
 内 容 / 記事の書き方・写真トリミング・見出しの付け方
 講 師 / 株式会社シイーム 石田 章氏
 参加者 / 15名

- (3) 子育てサロン実施地区研修会の開催

開催日 / 平成24年9月18日(火)
 内 容 / 地域における子育てサロンの大切さと乳児期のコミュニケーションについて

講師 / 医療法人定生会 谷口病院理事長 谷口 武 氏
 参加者 / 50 名

(4) 先進地視察研修会の開催

開催日 / 平成 24 年 10 月 24 日 (水) ~25 日 (木)
 内 容 / 和歌山県広川町「稲村の火の館」
 新宮市災害ボランティアセンター
 参加者 / 28 名

(5) 小地域ネットワーク活動報告集会の開催

開催日 / 平成 25 年 3 月 26 日 (火)
 内 容 / 事例報告
 ①上之郷地区『子育てサロンの取り組み』
 ②新町支部『防災活動への参加状況』
 基調講演 タレント・漫才師 辻 イト子氏
 「障がいを持つ長女の生き立ちや人生経験」
 参加者 / 248 名

4. 地区福祉委員会と連携した障害者社会参加促進事業

- (1) 実行委員会の開催 5 回
 (2) 交流事業の開催 4 回
 ①堺市「緑のミュージアムハーベストの丘」 9 月 22 日 (土) 参加者 59 名
 ②長坂地区「地域ふれあいサロン」 11 月 17 日 (土) 参加者 43 名
 ③大木地区「地域ふれあいサロン」 2 月 24 日 (日) 参加者 58 名
 ④ボッチャ・ゲーム交流会 3 月 30 日 (土) 参加者 54 名

5. 小地域ネットワーク活動の実績

《個別訪問活動》

項目 支部	ネット数 (計)	月 1 回以上の定期的な訪問			延べ 訪問回数	延べ 訪問人数	登録協 力員数
		65 歳以上 独居高齢者	65 歳以上 高齢者世帯	その他 障害者他			
日 新 地 区	102	100	1	1	2,147	2,911	54
佐 野 台 地 区	173	139	29	5	9,000	11,465	126
北 中 地 区	78	76	2		1,527	3,388	68
三 小 地 区	90	80	7	3	2,814	5,144	71
末 広 地 区	54	52	2		1,502	2,879	79
一 小 地 区	213	207	2	4	4,338	9,681	223
長 滝 地 区	37	37			587	1,464	22
上 之 郷 地 区	1	1			2	2	90
大 土 地 区	34	31	3		457	769	64

項目 支部	ネット数 (計)	月1回以上の定期的な訪問			延べ 訪問回数	延べ 訪問人数	登録協 力員数
		65歳以上 独居高齢者	65歳以上 高齢者世帯	その他 障害者他			
長坂地区	246	211	26	9	8,831	14,708	147
日根野地区	135	114	21		2,586	3,502	217
南中地区	169	169			2,915	7,031	95
中央地区	112	111	1		2,508	2,498	105
二小地区	165	156	5	4	3,726	11,649	198
合計	1,609	1,484	99	26	42,940	77,091	1,559

《グループ支援活動》

項目 支部	実施回数 (計)	グループ支援活動内訳			参加者内訳	
		いきいきサロン	世代間交流会	子育てサロン	対象者	関係者
日新地区	49	25	2	22	1,517	455
佐野台地区	66	62	4		1,551	712
北中地区	55	41	5	9	2,377	741
三小地区	95	7	4	84	1,173	557
末広地区	48	27	4	17	644	292
一小地区	273	188	16	69	7,080	1,885
長滝地区	39	38	1		352	522
上之郷地区	63	50	5	8	1,360	615
大土地地区	34	25	9		1,102	186
長坂地区	128	106	22		3,149	916
日根野地区	169	141	5	23	3,630	1,017
南中地区	29	13	4	12	910	417
中央地区	148	82	4	62	2,315	716
二小地区	278	257	9	12	4,459	989
合計	1,474	1,062	94	318	31,619	10,020

〔3〕災害に強い街づくり事業の推進

地域福祉活動の支援の一環として、泉佐野市がすすめる自主防災組織の結成においても市役所担当課と連携しながら、必要に応じて情報提供や相談支援を行った結果、各地域で防災訓練や災害についての研修の実施など、取り組みが活発になってきている。

災害救援マニュアルの検証・普及を目的に災害ボランティアセンターの模擬訓練を行

った。改善点については検証していく。

1. 関係役職員を対象とした災害発生時のシミュレーションの実施

災害救援マニュアルに基づき、災害ボランティアセンター設置時のボランティア依頼およびボランティア派遣の流れを再確認した。

開催日 / 平成 24 年 9 月 2 日（日）午前 9 時～12 時半

場 所 / 社会福祉センター、ボランティアセンター

参加者 / 66 名

2. 図上訓練用マップの提供

1 3 地域へ提供

・長滝地区各町、長坂地区各町、一小地区各町、二小地区各町、春日町、市場町

3. 防災訓練などの地域支援

5 月 19 日	市場町	草の根防災訓練
8 月 31 日	泉ヶ丘	草の根防災訓練
10 月 27 日	新町	防災連絡会議
11 月 4 日	長滝地区	自主防災組織 防災防犯訓練
11 月 18 日	泉ヶ丘	自主防災訓練
2 月 10 日	高松町	防災研修会
2 月 16 日	小ざくらネット (二小地区)	防災訓練

4. 他機関、研修会・講習会への参加

2 月 8 日 市町村社協連合会 泉州ブロック研修会・交流会（新宮市社協）

〔4〕 ボランティアセンター事業の推進

ボランティアセンター運営委員会により、ボランティアセンターの運営及びボランティア講座・研修会やイベントの検討、開催を行った。

市民のボランティア活動のさらなる参加促進を目標に、新規ボランティア講座や朗読ボランティア講座、傾聴ボランティア講座を行い新たなボランティアの発掘につとめ、新たにボランティアグループ泉佐野傾聴「風」を立ち上げた。また、毎日ボランティアセンターを開けることで、ボランティアの情報発信の場として、市民により身近な場所としてボランティアセンターの運営を行い、金曜日にはボランティアセンター運営委員が午前午後各 2 名交代でボランティアセンターの運営にあたった。

登録ボランティアグループ、登録施設を対象に連絡会を開催し、情報交換を行った。

また、5 名のボランティアアドバイザーがボランティアの相談にのり、施設（団体）との調整役として活動を行った。

1. 各種会議の開催

- | | |
|------------------------------|-------|
| (1) ボランティアセンター運営委員会の開催 | 5 回 |
| (2) ボランティアアドバイザー連絡会の開催（※開催時） | 1 2 回 |
| (3) 登録ボランティアグループ連絡会の開催 | 2 回 |

2. サロン・ド・ボランティアの開設とボランティア活動のコーディネート

(1) 個人登録ボランティア

毎月開催のサロン・ド・ボランティアにおいてボランティア活動のコーディネートを行い、新規団体からの活動依頼もあり活動受入の幅が広がった。平成24年度の延べ活動人数は1,975名である。内訳は下表のとおり。

分野	施設名	活動内容	延べ活動者数
保 育	木馬園	一時保育	66名
高齢者	幸テ伊ビセンター	話し相手、施設内レク補助	46名
	泉ヶ丘園	外出付添、施設内レク補助	133名
	アムリタ	話し相手、施設内レク補助	102名
	グループホーム泉州	施設内レク補助	161名
	暢楽荘	施設内レク補助	100名
	犬鳴山荘	施設内レク補助	77名
	エルダーケア	施設内レク補助	201名
	テ伊ビス和草	囲碁・将棋対戦相手	48名
	栄公苑	施設内レク補助	83名
	来友館	囲碁・将棋対戦相手、施設内レク補助	15名
	テ伊ビスひだまり湊	施設内レク補助	2名
障がい者 (児)	スポーツ教室	スポーツ介助	65名
	ぎんなん、ふ・ふ・ふ	作業補助、スポーツ介助	308名
	ベルカント、マジソ	作業補助	6名
	すずらん	施設内レク補助	26名
	泉友会	施設内レク補助	6名
	りんごの樹	作業補助	89名
	ささゆり作業所	イベント手伝い	8名
社 協	声のボランティア	市報朗読	176名
	ボランティアセンター	イベント手伝い、サロン喫茶、相談受付	251名

(2) グループ登録ボランティア

ボランティアグループの育成・支援をするために無償でボランティアセンターや福祉センターの会議室や材料等の貸し出しを行い、また、社協事業において登録グループに協力を求め、外部からの派遣依頼に対しグループの紹介を行った。

ボランティアセンターからの活動依頼及び紹介による活動実績は下記のとおり。

グループ名	活動内容	活動回数	延べ活動者数
ぶどうの会	おせち料理の箸づくり	1回	22名
手話サークル いちょう	手話通訳（社協チャリティバザー）	1回	3名
	手話通訳（社協ふれあいクリスマス会）	1回	2名
歌体操	歌体操で交流会（来友館）	1回	3名
リフォーム なでしこ	社協ふれあいクリスマス会プレゼント制作	12回	126名
	ズボン、シャツのファスナー付け	11回	47名
	日根野子育てサロンプレゼント制作	1回	5名
	スピーカーカバー作製	1回	9名
	介護用ビーズクッション作製	1回	7名
サザンボイス	紙芝居（テイ・ビスひだまり湊）	1回	8名
	芝居（来友館）	1回	8名
ヘルスメイトの会	チャリティバザー事業手伝い	1回	4名

3. 講座及び研修会の開催

(1) 朗読ボランティア講座

市から依頼を受けた視覚障害者の為の市報朗読ボランティア活動増員とボランティアのレベルアップを目的に講座を開催した。

開催日	場 所	内 容	参加者数		
			新規	登録済	合計
6月20日	社会福祉 センター	朗読と音訳の違い、発声	19名	11名	30名
6月27日		腹式呼吸、呼吸のトレーニングについて	14名	9名	23名
7月4日		文を組み立てる	14名	10名	24名
7月11日		数詞・助数詞の発音とアクセント	14名	10名	24名
7月18日		段落の構成を考える、間の練習	13名	10名	23名

(2) 傾聴ボランティア連続講座

独居高齢者・社会的孤立者の増加に伴い、傾聴ボランティアの必要性が問われている中、傾聴ボランティアの人材を育成することを目的に開催した。

開催日	場 所	内 容	参加者数
8月29日	社会福祉センター	傾聴の意義	27名
9月12日	社会福祉センター	実際のコミュニケーションの注意点	29名
9月19日	社会福祉センター	ロールプレイ実習の仕方	27名

開催日	場 所	内 容	参加者数
9月20日～10月25日の間の月～金の内1日	介護老人保健施設 栄公苑	福祉施設での傾聴実習	26名
10月26日	社会福祉センター	実習の振り返り	23名

(3) ボランティア講座入門

ボランティア活動に興味のある新規登録ボランティアの増加を目指し、ボランティア講座を開催した。

開催日	場 所	内 容	参加者数		
			申込者	アドバイザー	合計
6月12日	社協ボランティアセンター	・ボランティアセンターについて ・登録施設(団体)からのお話 ・ボランティア・アドバイザーとの交流 ・車椅子・アイマスクの取り扱い	17名	5名	22名
9月7日			16名	3名	19名
1月17日			13名	5名	18名
3月12日			8名	4名	12名

(4) ボランティア日帰り研修会

登録ボランティアの資質向上と親睦を図ることを目的とする。

開催日 / 9月20日(木)

場 所 / ビッグアイ(国際障害者交流センター)

参加者 / 48名

(5) ボランティアセンター運営委員視察研修会

先進地区の視察研修を行い、運営委員の資質向上を図ることを目的とする。

開催日 / 7月3日(火)

場 所 / 枚方市社協ボランティアセンター

参加者 / 11名

(6) ボランティア研修・交流会

ボランティア活動の必要性や役割を理解していただくことを目的とする。

開催日 / 3月27日(水)

場 所 / 社会福祉センター

内 容 / 桃山学院大学 石田易司教授による

「ボランティア活動の必要性」「ワークショップ」

参加者 / 59名

4. 各種行事

(1) 障がい児者ふれあい交流会

市内在住の障がい者、関係団体、ボランティア等が連携をとりながら人とのふれあいを通じて障がいについての理解と認識を深めるために、障害者社会参加促進事業と合同で開催。

開催日 / 9月22日(土)

場 所 / 堺・緑のミュージアム ハーベストの丘
 内 容 / オープン粘土（障害児者のみ）、バーベキュー、
 ボランティアとの交流 他
 参 加 者 / 対象者 16 名・同伴者 20 名・ボランティア等 23 名 合計 59 名

(2) 第 3 4 回 社協チャリティバザー

社会福祉関係団体及び協力団体・グループが、あらゆる品物を持ち寄り市価の半額程度で一般市民に販売、売上金はすべて市民の福祉活動のために使用する。

(売上金 1,540,520 円)

開 催 日 / 12 月 9 日 (日)
 場 所 / 社会福祉センター、ボランティアセンター
 内 容 / 物品販売・オークション・喫茶コーナー等
 協 力 者 / 各種団体 69 名・ボランティア 36 名・社協関係者 14 名
 合計 119 名

(3) 第 3 4 回 社協ふれあいクリスマス会

障がいをもつ児童や家庭児童相談員が関わっている子ども、両親のいない児童や交通遺児を対象に社協ふれあいクリスマス会を開催。

開 催 日 / 12 月 22 日 (土)
 場 所 / 泉の森ホール レセプションホール
 内 容 / 音楽料理ショー、大道芸、手作りプレゼント
 参 加 者 / 対象児童 51 名・同伴者 100 名 (大人 64 名、子ども 36 名)・
 ボランティア 46 名 合計 197 名

5. ボランティアセンター会議室利用件数

	1階		2階		合 計
	AM	PM	AM	PM	
4 月	7	10	5	11	33
5 月	10	11	3	14	38
6 月	11	12	11	20	54
7 月	5	11	6	15	37
8 月	2	4	3	14	23
9 月	8	11	4	11	34
10 月	10	10	4	9	33
11 月	10	12	2	11	35
12 月	13	13	11	15	52
1 月	8	10	1	13	32
2 月	8	9	2	12	31
3 月	7	11	5	10	33
合 計	99	124	57	155	435

6. 善意銀行 寄託・払い出し状況

寄託件数	36件
寄託金額	2,315,337円
寄託物品	ベルマーク、車椅子、布

払い出し件数	5件	
払い出し金	① 障がい児のためのサマースクール	50,000円
	② 給食サービスランチジャー購入費	492,500円
	③ 社協だより発刊	421,615円
	④ チャリティバザー開催諸費	132,500円
	⑤ ふれあいクリスマス会開催諸費	96,960円
	合計	1,193,575円
指定寄付	タペストリー → いちよしの森ぎんなんへ	

〔5〕総合相談事業の推進

『心配ごと相談所』の相談実績は以下のとおりで、内容に応じて関係機関等と連携し、問題解決の調整を行った。

1. 心配ごと相談所の開設

相談員数	13名
開設延日数	43日
延相談員数	86名
相談件数	27件
心配ごと相談所相談員連絡会議	1回
心配ごと相談所相談員研修会	1回

※相談状況

内容 対象者	家族 関係	人 間 他 の 関 係	病 気	仕 事	法 律	金 銭 関 係	そ の 他	計
高齢者	3	1	2	0	2	3	2	13
障がい者	1	0	0	0	0	0	0	1
子育て中の親	1	0	0	0	1	1	0	3
その他	7	0	1	3	1	4	0	16
計	12	1	3	3	4	8	2	33

〔6〕コミュニティソーシャルワーカー（新池校区担当）設置事業の推進

要援護者からの相談状況

相談内容 対象者	サービス 福祉制度・	生活	健康・医療	生活費	就労	DV・虐待	住宅	子育て	その他	合計
高齢者	3	7	0	0	0	0	1	0	0	11
障がい者	3	16	2	1	0	4	11	0	5	42
ホームレス	0	3	0	22	2	0	29	0	0	56
その他	37	25	7	14	0	1	0	0	5	89
合計	43	51	9	37	2	5	41	0	10	198

〔7〕在宅福祉活動の推進

在宅で安心して生活し続けるための一助にと取り組んだ『高齢者給食サービス事業』は、市内に設置されている福祉施設（団体）や民生委員児童委員等との連携をはかりながら実施した。また、外出困難な高齢者や障がい者に対して『福祉車両及び車椅子の貸し出し』を実施した。

1. 高齢者給食サービス事業

◇普通給食の配食 毎週火曜日（昼食）

給食利用者数 94名

延給食実施回数 39回

延配食数 2,584食

◇おせち料理の配食 12月31日

配食数 72食

- | | |
|-------------------------------|----|
| (1) 給食サービス事業調理協力施設（団体）連絡会議の開催 | 2回 |
| (2) 給食調理補助ボランティア連絡会議の開催 | 1回 |
| (3) キイステーション連絡会の開催 | 1回 |
| (4) 給食サービス事業判定委員会の開催 | 1回 |
| (5) 給食試食会の開催 | 3回 |

2. 福祉車両貸し出し

利用者数 8名 / 貸出回数 延べ18回

3. 車椅子貸し出し

利用者数 6名 / 貸出回数 延べ7回

〔8〕地域包括支援センター事業の推進

「高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を続けていく」ことを目的に各事業に取り組んだ。

高齢者の総合相談窓口として、本人・家族・他機関から多数の相談を受け、関係機関

と協力連携し支援を行った。

高齢者が要介護状態にならないようするための介護予防業務では、要支援者などに対する介護予防計画作成や市民向けの介護予防に関する講演会を実施し、地域に出向いた出張講座もテーマを追加し充実させた。また、介護支援サポーター事業の取り組みも開始した。

高齢者を支える地域の介護関係事業所に対しては研修会や相談・支援を行った。

また、介護の日の記念イベントにおいては、孤立死防止のための地域とのきずなの必要性について「老いたく」というテーマで講演会を開催した。

認知症施策総合推進事業においては、認知症の早期発見のためポスターを作製し、地域へ配布するとともに早期発見後の受診や症状への対応など専門医による講演会を開催した。

1. 支援の基盤整備

(1) 地域包括ケア会議の開催

開催回数 4回 参加機関 11機関

(2) 高齢者虐待防止ネットワーク会議の開催

開催回数 4回 参加機関 11機関

高齢者虐待防止活動

高齢者虐待通報への対応件数 22件

担当者会議開催数 21回

2. 総合相談・権利擁護

(1) 相談状況

相談実人数	561人		
相談延べ件数（対応回数）	2,269件		
相談形態内訳	訪問	549	24.2%
	来所面接	433	19.1%
	電話	1,287	56.7%

(2) 相談内容

相談内容		件数	割合
介護保険関係	介護保険制度	249	5.9%
	ケアプラン	187	4.4%
	サービス	345	8.1%
	住宅改修	37	0.9%
	施設入所	184	4.3%
	小計	1,002	23.6%
介護保険関係以外の 福祉サービス	緊急通報装置など	107	2.5%
	ボランティアなど	88	2.1%
	小計	195	4.6%

相 談 内 容		件数	割合
医療・保健相談	保健予防	81	1.9%
	入退院など	352	8.3%
	小計	433	10.2%
家庭介護・介護者支援	認知症	644	15.2%
	身体介護	34	0.8%
	精神介護	104	2.4%
	家庭環境	464	10.9%
	小計	1,246	29.3%
権利擁護	成年後見制度など	58	1.4%
	財産・経済問題など	399	9.4%
	虐待関係	802	18.9%
	小計	1,259	29.7%
その他生活上の相談	近隣トラブルなど	82	1.9%
	他	29	0.7%
	小計	111	2.6%
合 計		4,246	100%

(3) ブランチ型総合相談業務

委託事業所 5か所 年間相談件数 288件

- ・犬鳴山荘在宅介護支援センター
- ・在宅介護支援センター 泉ヶ丘園
- ・在宅介護支援センター ホライズン
- ・在宅介護支援センター 和
- ・レポート在宅介護支援センター

活動内容 高齢者の相談窓口 虐待・対応困難事例の支援

地域包括ケア会議・高齢者虐待防止ネットワーク会議への参加

3. 包括的・継続的ケアマネジメント業務

(1) 介護支援専門員に対する支援

ケアマネ支援件数 484件

(内訳延べ) 体制構築 379件／個別支援 612件

(2) 事業所向け研修会

月 日	内 容	場 所	参加数
5月20日 (月)	事例検討会	地域包括支援センター会議室	15
7月26日 (木)	事業所向け研修会 「高齢者のうつ病と自死予防について」	田尻ふれあいセンター	59
9月13日 (金)	事例検討会	地域包括支援センター会議室	14
10月18日 (金)	主任ケアマネジャーのつどい	地域包括支援センター会議室	21

月 日	内 容	場 所	参加数
11月17日 (木)	事業所向け研修会 「住み慣れた地域で安心して暮らせるために」	田尻ふれあいセンター	45
1月20日 (月)	事例検討会	地域包括支援センター会議室	21

(3) 介護支援専門員連絡会活動支援

幹事会 5回

6市町ケアマネジャー合同連絡会 6回 関連研修参加 2回

4. 介護予防マネジメント

要支援者・二次予防事業対象者に対する介護予防ケアプランの作成

要支援者：介護予防計画延べ作成件数 5,312件

内訳 包括作成 2,258件 委託件数 3,054件

二次予防事業対象者：介護予防計画アセスメント件数 53件

5. 出張講座・介護予防教室等

介護予防・認知症・高齢者虐待・消費者被害などに関する内容で79回
延べ2,923人に実施

6. 平成24年度介護の日 記念講演会

開催日 / 平成24年11月24日(土) 午後1時～4時

場 所 / 社会福祉センター 3階

内 容 / 記念講演 吉田太一氏(遺品整理会社「キーパーズ」社長)
「老いたく」

参加者 / 144名

7. 介護支援サポーター事業

登録申請者数	登録者数	活動人数 (実数)	活動人数 (延べ)	活動回数 (延べ)
30名	27名	9名	35名	98回

〔9〕 広報宣伝活動の推進と備品の貸し出し

社協機関紙を年5回発行し、社協活動をPRすると共にホームページ、ブログにより
広く情報提供を行った。また、備品の貸し出しにより地域福祉に貢献した。

備品貸し出し 音響関係、ゲーム、プロジェクター他 延べ45件

〔10〕 日常生活自立支援事業の推進

介護保険制度の実施や社会福祉法の施行により、福祉サービスの利用が措置制度から
選択・契約によるサービスへと変わり、判断能力が不十分な方が地域で自立した生活が
おくれるよう、在宅者・施設利用者・入院者などへの支援・援助活動を行っている。

なお、成年後見等開始の審判市長申立については、市と連携を図っている。

※ 契約・活動 件数

内 容	本事業の利用に関するもの			合 計
	対象者 状況	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	
活 動 件 数	508	320	379	1,207
新規契約件数	3	2	3	8
契 約 件 数	21	11	8	40

〔11〕 社会福祉協議会会員組織の充実と自主財源の強化

社協会員会費制度の継続加入と増加を図り、各町内会・福祉委員会他、福祉関係団体の協力を得て、8,117,300円（昨年比－446,200円）の浄財が寄せられ、地域の福祉活動に利用していただく為、会員会費の50%を還付した。さらに、地区福祉委員会活動に10%還付した。

協賛会員制度についても、270,000円の浄財が寄せられた。

1. 各地区・社協会員会費募集状況

一 小 地 区	2, 0 5 3, 4 0 0 円
二 小 地 区	5 0 0, 0 0 0 円
三 小 地 区	7 8 5, 0 0 0 円
日 新 地 区	9 5 5, 6 0 0 円
中 央 地 区	3 9 9, 0 0 0 円
長 滝 地 区	4 7 7, 0 0 0 円
北 中 地 区	9 8 0, 0 0 0 円
南 中 地 区	2 6 0, 0 0 0 円
長 坂 地 区	3 8 3, 0 0 0 円
佐 野 台 地 区	5 6 4, 3 0 0 円
上 之 郷 地 区	3 0 0, 0 0 0 円
日 根 野 地 区	3 0 0, 0 0 0 円
末 広 地 区	1 0 0, 0 0 0 円
大 土 地 区	6 0, 0 0 0 円
合 計	8, 1 1 7, 3 0 0 円

2. 協賛会員会費募集状況 (1口 10,000円)

泉佐野市長生会連合会	社会福祉法人 いちようの森
社会福祉法人 光会	社会福祉法人 常茂恵会
社会福祉法人 泉ヶ丘福社会	社会福祉法人 水平会
社会福祉法人 犬鳴山	社会福祉法人 和泉の国
社会福祉法人 清光会	泉佐野地区 保護司会
社会福祉法人 来友会	泉佐野ルーテル保育園
社会福祉法人 アムリタ	社会福祉法人 あおい会

社会医療法人 栄公会	社会福祉法人 杉の子会
社会福祉法人 日新親友会	社会福祉法人 日根野福祉会
社会福祉法人 清和保育園	社会福祉法人 幸楽会
NPO法人 いきいきくらぶ	泉佐野ロータリークラブ
社会福祉法人 みやび	土丸町会
民生委員児童委員協議会	大木町内会
泉佐野商工会議所	

[12] 共同募金事業の推進

1. 赤い羽根共同募金運動

10月1日から12月31日にかけて赤い羽根共同募金運動として広く市民に協力を呼びかけ、戸別募金、街頭募金等を実施した。市内小中学校にも協力を依頼し小学校6校にて児童による募金活動が行われた。

2. 歳末たすけあい運動

“地域でささえあうあったかい地域づくり”のスローガンにもとづき、「歳末たすけあい運動」を実施した。多くの浄財が寄せられ、ひとり暮らし高齢者の交流会やおせち料理の配食、児童が書いた年賀状の送付、また障がい児者を対象としたふれあいクリスマス会やふれあい交流会、親と子のふれあい人形劇のつどいなどに配分をし、福祉の増進に役立たせていただいた。

募金件数 65件 募金額 1,289,625円
 払出金額 1,899,550円

※不足額は繰越金より支出

[13] 低所得世帯への支援

低所得者世帯や高齢者・障がい者世帯、生計中心者が失業した世帯に対して、大阪府生活福祉資金貸付の窓口として相談を受け付けるとともに、必要に応じ民生委員による支援を要請し、世帯の経済的な自立を助けた。

また、相談内容により貸付対象に該当しないケースにおいても、必要に応じて社会貢献事業につなぐ等の対応を行った。

相談件数	740件		
貸付種類	生活福祉資金 (総合支援資金を除く)	総合支援資金 ※臨時特例つなぎ資金 含む	小口生活資金
申込件数	39件	29件	14件
申込金額	31,270,500円	23,069,102円	1,150,000円

[14] 市立社会福祉センターの管理運営

社会福祉センターの管理運営業務を受託し、利用者の増と相互交流を図るべく交流会

を開催するとともに、利用者が快適に利用できるよう施設の環境を整備した。

照明器具を LED 化し、電気代の削減に努めた。また、2 階事務室の内装改修を行い環境改善を行った。

職員研修では、自衛消防訓練、人権研修等を実施し、職員の意識向上を図った。

1. 高齢者・障がい者交流会及び研修会の開催

開催日	研修会名	参加人数
6月15日(金)	第1回 障がい者・高齢者カラオケ大会	80人
12月21日(金)	シニアふれあいクリスマス会 ・真山みき歌謡ショー ・健康教室、介護予防 ・抽選会及びコーヒー・ケーキの販売等	91人
3月15日(金)	第2回 障がい者・高齢者カラオケ大会	80人

2. 福祉センター利用状況

風呂利用者数	娯楽室利用者数
7,955人	11,735人

会議室利用件数

	第1会議室		第2会議室		大会議室		合計	
午前	76件	599人	57件	485人	174件	9,077人	307件	10,161人
午後	162件	2,998人	145件	1,734人	180件	8,228人	487件	12,960人
夜間	125件	2,244人	34件	468人	14件	1,437人	173件	4,149人
合計	363件	5,841人	236件	2,687人	368件	18,742人	967件	27,270人